

2024年9月9日～10日に函館水産試験場試験調査船「金星丸」で噴火湾環境調査を実施しました。噴火湾周辺海域の水温・塩分・溶存酸素の観測結果をお知らせします。

(函館水産試験場のHPからもご覧頂けます <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/hakodate/>)

【水温の鉛直分布】

深度10mの水温は23℃以上で、**平年より4℃ほど高くなっています**。
深度30mの水温は湾内で15～17℃台と平年並ですが、湾外では20℃前後と平年より高くなっています。

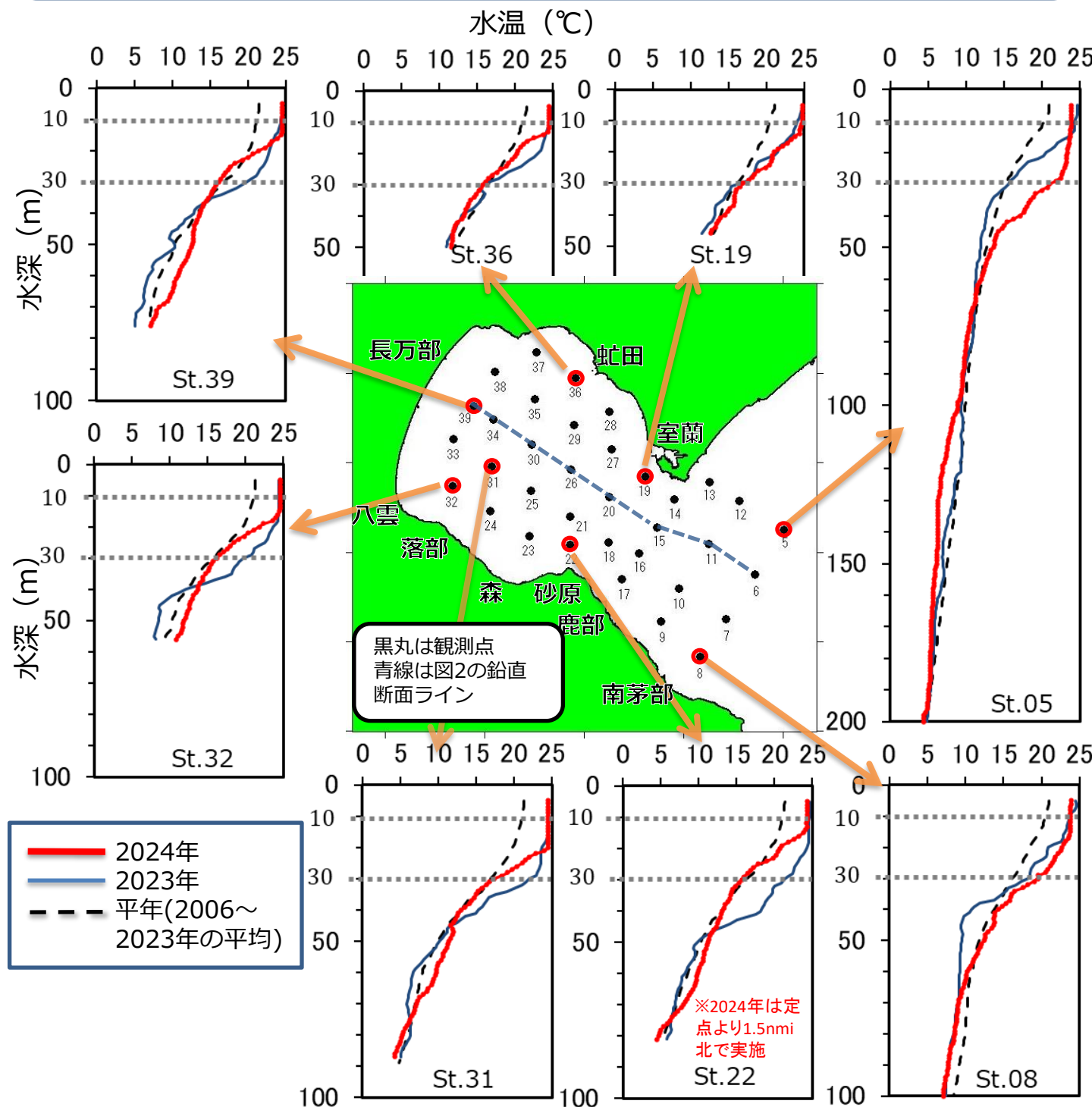


図1 噴火湾各地先の水温の鉛直分布

【9月噴火湾の鉛直断面図】

- 湾内の水深20m以浅は24℃前後と水温が非常に高く比較的低塩分（概ね33%以下）の水塊で覆われています。（図2）
- 暖流の影響を受けたとみられる水（水温6℃以上・塩分33.6%以上；以下「暖流系水」）は湾内の水深40～70mおよび湾外の水深30m以深に分布しています。

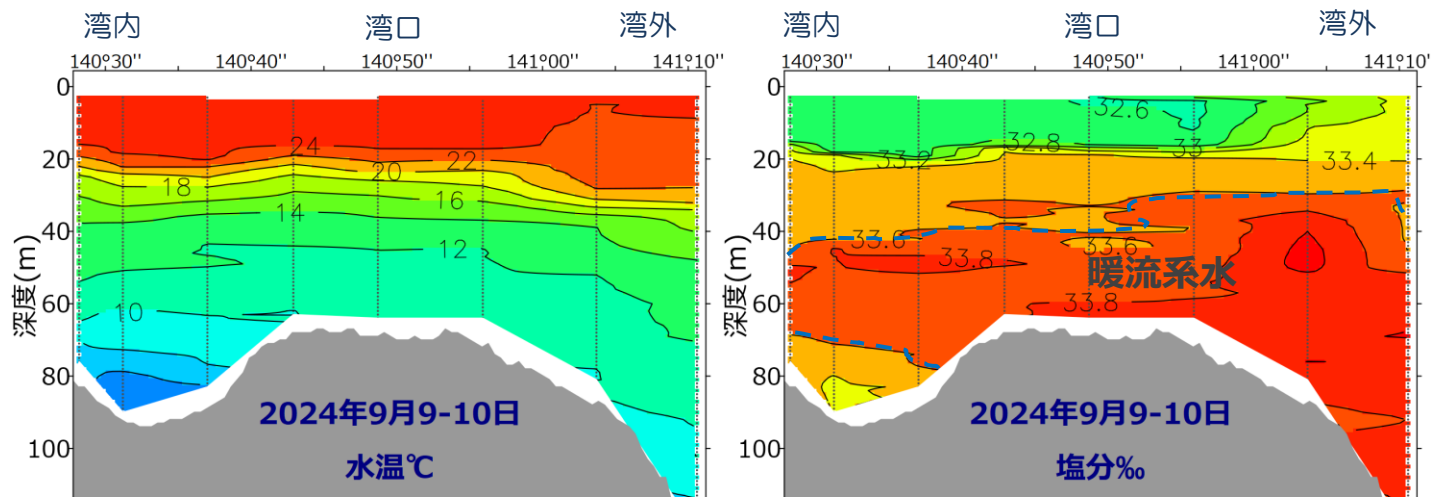


図2 水温と塩分の鉛直断面図（左：水温，右：塩分）
鉛直断面の位置は右上図の赤破線を参照，図中の縦線は観測点

【9月の溶存酸素・津軽暖流水の流入状況】

湾奥部海底の貧酸素状態が継続しています

- 7・8月に湾奥～湾西部海底で見られた貧酸素水は，引き続き今回も観測されました（最低1.4ml/L；図3左）。
- 暖流系水が湾口から湾奥にかけて流入しており（図3右），このまま湾内への流入が継続し大気からの冷却が進むと，海底の貧酸素状態は解消するとみられます。

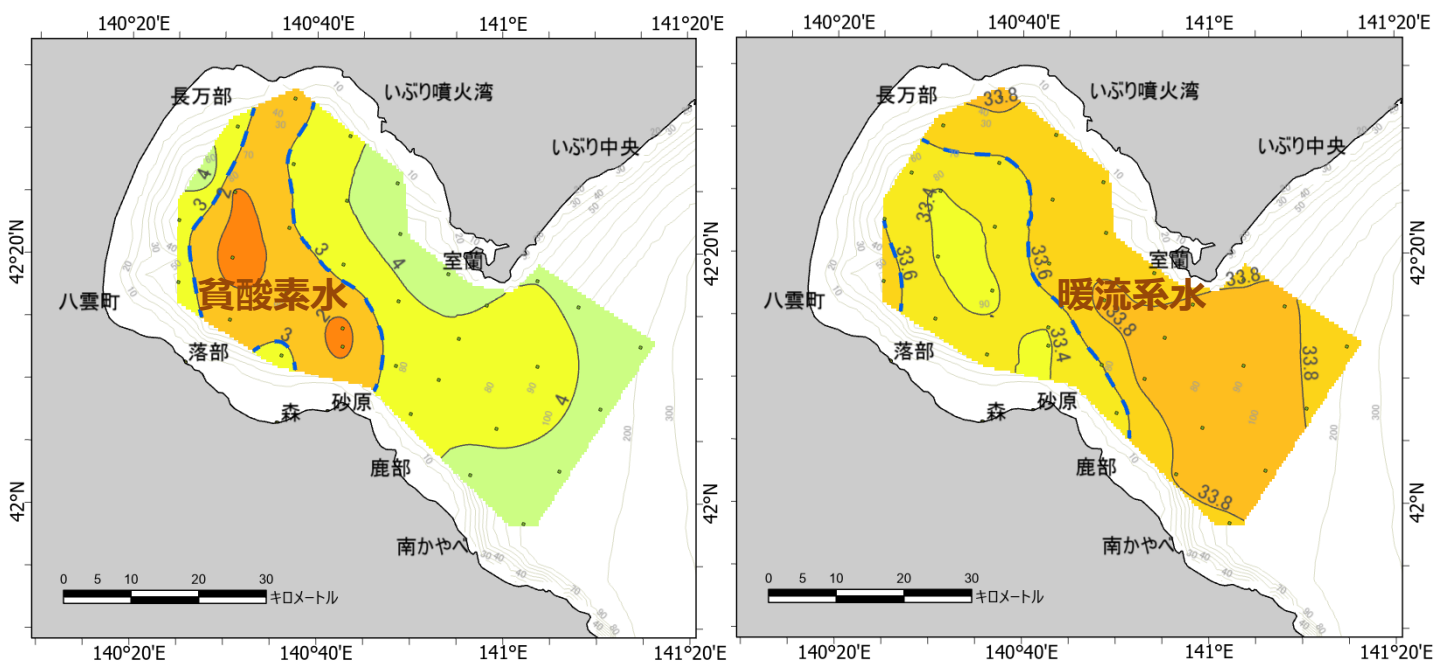


図3 左：海底上5mにおける溶存酸素量（ml/L） 右：塩分
※3ml/L（破線）未满是貧酸素水 ※33.6‰（破線）以上は暖流系水